

会 議 録

会議名	令和5年度 第5回 大野北地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所 大野北まちづくりセンター 電話 042-861-4512		
開催日時	令和6年1月30日(火) 18時30分～20時35分		
開催場所	大野北公民館 大会議室		
出席者	委員	18人 (別紙のとおり)	
	その他	8人 都市計画課長、生涯学習課長、公園課長 他5人	
	事務局	3人 まちづくりセンター所長、他2人	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	4人
公開不可・一部公開不可の場合は、その理由			
会議次第	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 地域活性化事業交付金の申請について</p> <p>ア「伝統文化とのコラボレーションによる地域活性化事業」</p> <p>イ「大野北子育て応援プロジェクト」</p> <p>(2) 「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」の進捗状況について</p> <p>ア まちづくりワークショップの報告について</p> <p>イ 跡地活用に関する民間事業者等アンケート調査等の結果概要の報告について</p> <p>(3) 大野北地区まちづくり会議の委員構成について</p> <p>3 出席委員からの情報提供</p> <p>(1) (仮称) 淵野辺小学校こどもまちづくり懇談会について</p> <p>4 その他</p> <p>次回日程について</p> <p>日時 令和6年3月26日(火) 午後6時30分から</p> <p>場所 大野北公民館 大会議室</p>		

審 議 経 過

1 あいさつ

山口会長よりあいさつ（以後進行は山口会長）

2 議 題

※一部議題の順番を変更して進行する。

(1)「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」の進捗状況について

生涯学習課から「まちづくりワークショップの報告について」及び都市計画課から「跡地活用に関する民間事業者等アンケート調査等の結果概要の報告について」資料に基づき説明。

○主な説明内容

ア まちづくりワークショップの報告について

<出前授業の開催について>

(淵野辺小学校)

日付：7月12日(水)、12月14日(木) 対象者：6年2組

内容：淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて、同校の児童が考えたアイデアの発表を受けて意見交換を行い、多岐にわたるアイデアが出された。

(共和中学校)

日付：12月12日(火)、13日(水)、19日(火) 対象者：3年生

内容：淵野辺駅南口周辺のまちづくりビジョンについて説明しカードゲーム等を用いて公共施設をより良くするためのアイデアを考えていただいた。

<淵野辺駅南口周辺のまちづくりワークショップについて>

開催日：10月14日(土)、28日(土)、11月18日(土)

参加者：各地域団体推薦委員及び公募委員

内 容：「複合施設」、「図書館」、「淵野辺駅南口駅周辺のまちづくり」と3つのテーマに沿った内容にて様々な視点での意見やアイデアを考えていただいた。

イ 跡地活用に関する民間事業者等アンケート調査等の結果概要の報告について

淵野辺駅南口周辺の公共施設再整備後の跡地活用の検討にあたり、駅前自転車駐車場再整備や駅前市有地を活用したまちの賑わいの創出など、民間活力の活用等による地域の活性化に向けたまちづくりについて、専門的な知見を有する民間事業者等から、アンケート・ヒアリング調査により、幅広く意見等をいただいたので、その結果概要を報告。

<協力事業者について>

アンケート：27社（デベロッパー、建設、リース、施設維持管理、その他）

ヒアリング：21社（同上）

＜アンケート・ヒアリング調査の結果について＞

（駅前自転車駐車場の再整備の主な内容）

事業手法：民間活力を生かした事業の成立可能性が高く、PFI（BTO等）、DBOが望ましいという意見が多数あった。

再整備場所：利便性の面から現地建替えが望ましいという意見が多数あったほか、コスト面から移転建替え、交通量の面から機能を分散するという意見が複数あった。

導入機能：事業の採算性等の観点から、商業施設等と複合化するという意見が多数あった。

所有形態：土地は市が貸付けし、建物は民間が所有など、多様な意見が多数あった。

（駅前市有地の有効活用の主な内容）

事業範囲：事業の相乗効果等を図るため、駅前自転車駐車場の再整備と駅前市有地の有効活用は、一体的な事業として実施するという意見が多数あった。

活用アイデア：有効活用のアイデアとして、商業施設、集合住宅（マンション）等の意見が多数あり、所有形態は、土地売却が望ましいという意見が多数あった。

（淵野辺駅南口周辺の今後のまちづくりの主な内容）

ハード面：人が滞留・交流できる拠点の整備、駅前広場等を含めたエリアの再整備、商業施設の配置、駅南口から公園までの動線整備等についての意見が多数あった。

ソフト面：各種イベント等の取組、エリアマネジメントの取組等についての意見が多数あった。

※主な意見（○は委員の発言、●は市の発言）

【まちづくりワークショップの報告について】

○出前授業やまちづくりワークショップを実施した反響・感触等はどうか。

●今後の淵野辺駅南口周辺のまちづくりに対して、多くの皆さんが期待しているので、着実に進めていきたい。また、出前授業では、中学生等の多くは友達同士の情報交換や施設の情報等を得るためにスマートフォンを上手に利用しているため、学生ならではの斬新なアイデアを持っていると感じた。（生涯学習課）

○とても楽しくまちづくりワークショップに参加出来たことが第1印象であり、他の出席者の様々な視点でのアイデアを聞いて、とても勉強になった。

○市民検討会からまちづくりワークショップまで参加して、鹿沼公園内に複合施設として各施設が集約されると認識している。その後の移転した跡地の有効活用については、どのように検討していくのか。

●施設を集約するにあたり、跡地の有効活用についても方針を決めていかなければならないので、その際には、まちづくり会議をはじめ地域の皆さんの意見を引続き聞いていく必要があると認識している。（都市計画課）

○和気藹々と非常に楽しくワークショップに参加できた。自由に意見することができて、皆さんの思いが詰まった南口になればと嬉しく感じた。ただ、費用面や多くの課題もあると思うので、これからが大変であるが実現出来たら良いと思う。

○非常に楽しく、夢のあるワークショップであったと認識している。出席者の意識の差があったが、オープンハウスのやり方でも良かったのではないかと思う。複合施設の建設にあたり公園が縮小されるので、癒しの場所として足湯をつくる意見は、斬新で象徴的であった。野球場の跡地の活用として、防災公園として利用する意見も重要であり、今後も引続き皆でより良い南口周辺になるよう検討していきたい。

【跡地活用に関する民間事業者等アンケート調査等の結果概要の報告について】

○「事業手法」である「PFI（BTO）」はどういった内容なのか。

●民間活力を使って施設を整備・管理する事業手法であり、BTOは「Build Transfer Operate」の略称で、民間事業者が施設等を建設し、完成後は公共施設等の管理者に所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う事業方式である。（都市計画課）

○近年の建築費の高騰等を懸念する声があるが、行政や民間事業者はどのように捉えているか。

●ヒアリングを受けて、行政も民間事業者においても切実な問題として捉えている。事業としては数年先の建設スケジュールであるが、場合により好転する可能性もあるため、今後の社会情勢等を的確に見極める必要がある。事業費についても市として国の補助を活用する等、一般財源を縮小することも併せて考えていかなければならないと感じている。（都市計画課）

○民間事業者からヒアリングを受けて、行政としてはどのように考えているのか。地域住民は先が見えない不安もある一方で、多くの方は淵野辺駅南口周辺のまちづくりに期待している意見もある。もう少し具体的な市の答えをいただきたい。

●淵野辺駅南口周辺のまちづくりの方向性については、現時点では検討している段階であり、民間事業者や地域の意見も聞きながら、適宜タイミングを見て示していきたい。（都市計画課）

○現時点では、複合施設の建設、自転車駐車場の整備や跡地の活用及び駅前広場の在り方等検討している中で、様々な意見があり、課題等も見えてきたと承知している。例えば、実際に工事を進めるに当たっては、大規模になると想定されるが、今後、そういった内容がどのように決定されていくのか、いつ示されるのか、地域としては先が見えない中で、多少の不安を抱えている。来年度あたりには、具体的な方向性が示される認識でよいか。

●現時点では、民間事業者の意見等を踏まえながら、今後の計画を検討している段階であり、お示しできるものがない状況であるが、適宜、地域の皆様へは市の考え方をお示しすることが重要と考えているので、引続きまちづくり会議等において、ご説明していきたい。（都市計画課）

●複合施設については、現在、まちづくりビジョンとして構想をお示ししているが、令和6年度の夏季あたりを目途に、更に詳細なまちづくりプランの策定に向けて、現在、庁内調整等を図っている。ワークショップ等の実施についても、このまちづくりプランの策定の一環として行っているものであり、策定に向けてもう少しお待ちいただきたい。（生涯学習課）

○淵野辺駅南口周辺のまちづくりについては、今までも多くの議論を重ねてきた中で、少しずつイメージが湧いてきたと感じている。次の段階として、建設される複合施設の諸室やレイアウト等について、引続き地域の意見を反映しながら進めてもらいたい。

○高齢化を迎えている中で、淵野辺駅南口周辺のまちづくりを検討し、複合施設の建設や自転車駐車場の整備等を考えることも良いが、人が中心の視点でまちづくりを考えてほしい。

○複合施設等がなければ、まちづくりは完成していかないと思う。そのために多くの検討を行ってきており、幅広い世代の意見を集約しながら、より良い施設を作っていく必要がある。

(2) 地域活性化事業交付金の申請について

ア「伝統文化とのコラボレーションによる地域活性化事業」

・交付金申請団体から事業内容、「なまはげ」によるパフォーマンスと「なまはげ太鼓」について説明を行い申請が認められた。

イ「大野北子育て応援プロジェクト」

・交付金申請団体から事業内容、「音あそびワークショップやマリンバコンサート」について説明を行い申請が認められた。

(3) 大野北地区まちづくり会議の委員構成について

・事務局から資料5に基づき、大野北地区まちづくり会議会則について説明を行い新たな公募委員の参加について諮った。大野北地区まちづくり会議委員構成については、地域課題の情報共有や課題解決に向けて精通している各地域団体から委員を選出していることから、現時点では新たな公募委員の必要性はないため現行の会則を継続することで承認された。

3 出席委員からの情報提供

・淵野辺小学校から淵野辺駅南口周辺まちづくりの取組として6年2組の生徒が考えた提案について、意見交換を行う「淵野辺小学校こどもまちづくり懇談会」の実施が令和6年2月26日（月）淵野辺小学校体育館にて行う報告があった。

・大野北第1地域包括支援センターから「新春号つうしん」の紹介及び「高齢者の自動車運転を考える免許返納講座」が令和6年2月21日（水）13時30分から第5SKビル2階大会議室（中央区淵野辺3-3-6）にて開催する報告があった。

・にこにこ星ふちのべ商店会から「伝統文化とのコラボレーションによる地域活性化事業のなまはげ」が令和6年2月3日（土）13時30分から大野北公民館大会議室及び15時から淵野辺駅北口オーロラデッキ下にて開催する報告があった。

・麻布大学から教育セミナー「栄養バランスの整った食事での認知症予防」が令和6年2月21日（水）10時から麻布大学大教室にて開催する報告があった。

4 その他

(1) 次回日程について

次回は、令和6年3月26日（火）午後6時30分から開催予定と事務局から報告。

5 閉 会

以 上

令和5年度 大野北地区まちづくり会議委員出席者

No.	氏名	所属団体等の名称	出欠席
1	山口 信郎	大野北地区自治会連合会	出
		大野北地区社会福祉協議会	
2	小川 紳夫	大野北公民館	出
3	小野澤 行雄	大野北地区民生委員児童委員協議会	出
4	林 知治	大野北地区自治会連合会	出
5	岡本 誠	大野北地区自治会連合会	欠
6	望月 規男	大野北地区社会福祉協議会	出
7	田加井 政勇	交通安全協会	出
8	岡 純正	大野北地区老人クラブ連合会	出
9	安藤 貴光	相模原市消防団中央方面隊第三分団	欠
10	柿山 清美	さがみはら国際交流ラウンジ	出
11	小方 明	大野北青少年健全育成協議会	欠
12	高橋 美保	青少年指導委員大野北地区協議会	欠
13	岡本 裕子	スポーツ推進委員大野北地区協議会	出
14	二宮 昭夫	小学校	出
15	小林 知昭	中学校	出
16	今西 克弥	小・中学校PTA	出
17	野中 伸也	青山学院大学	欠
18	山岸 優之	桜美林学園	出
19	白石 一郎	麻布大学	出
20	宮津 敏信	ボランティアグループ	出
21	伊藤 憲秀	大野北第1地域包括支援センター	出
22	加瀬 剛広	大野北第2地域包括支援センター	出
23	森光 雄一郎	にこにこ星ふちのべ商店会	出
24	櫻内 康裕	淵野辺駅南口商栄会	欠
25	座間 均	相模原市農業協同組合淵野辺支店	欠

令和5年度 第5回大野北地区まちづくり会議

日 時 令和6年1月30日(火)
午後6時30分から
場 所 大野北公民館 大会議室

次 第

1 あいさつ

2 議 題

(1) 地域活性化事業交付金の申請について

- ア「伝統文化とのコラボレーションによる地域活性化事業」・・・資料1
イ「大野北子育て応援プロジェクト」・・・資料2

(2) 「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」の進捗状況について

- ア まちづくりワークショップの報告について・・・資料3
イ 跡地活用に関する民間事業者等アンケート調査等の結果概要の報告について・・・資料4

(3) 大野北地区まちづくり会議の委員構成について・・・資料5

3 出席委員からの情報提供

(1) (仮称) 淵野辺小学校こどもまちづくり懇談会について

4 その他

○次回日程について

日 時 令和6年3月26日(火) 午後6時30分から
場 所 大野北公民館 大会議室

以 上

事業名	伝統文化とのコラボレーションによる地域活性化事業		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（3年目）	
申請団体名	ふちのべ星援隊	代表者名	藤澤 昌幸	
申請団体概要	淵野辺を愛し、淵野辺の活性化の一助になればと、商店主、元PTA役員、青少年指導委員など多岐にわたるメンバーで構成			
事業の背景	大野北地区には複数の大学が立地していることやJAXA相模原キャンパスの最寄り駅であること、図書館、地区公園があることなど、市内でも文化的な色合いの濃い地区である。 このため、日本古来の伝統文化とコラボレーションすることにより、特色のある地域活性化事業ができるのではないかと考え、令和元年に「なまはげ」イベントを開催し、多くの地域住民に参加していただいたため第3回目を企画したもの。			
事業の目的	文化的な要素を取り入れた特色のある地域活性化を目的として、世界文化遺産にも登録されている民俗行事である「なまはげ」を大野北地区内の子ども達に体験してもらい、地域文化への興味や地域愛の醸成を図る。また、日頃体験することのできない、なまはげ太鼓の実演を通じて、住民同士の交流促進を図る。			
事業内容	○実施日：令和6年2月3日（土） ・男鹿和太鼓愛好会による、世界文化遺産に指定された「なまはげ」によるパフォーマンスとなまはげ太鼓の披露 ・午後1時30分～：公民館大会議室でのパフォーマンス披露 ・午後3時～：淵野辺駅デッキ下でのパフォーマンス披露 ・広報については、大野北地区内の幼稚園、保育園にパンフレットの配布及び自治会掲示板への掲出。 タウンニュースへの記事掲載、淵野辺駅デジタルサイネージでの周知			
事業費	403,000円	補助額	403,000円	
補助対象経費	費目	金額	説明	チェック
	謝礼	320,000円	出演料、交通費、輸送代、宿泊代等、謝礼3名	○
	音響費	45,000円	音響機材賃借料	○
	印刷製本費	8,000円	パンフレット作成費	○
	諸経費	30,000円	通信費、消耗品費、使用料など	○
補足説明				
まちづくり会議の意見	<ul style="list-style-type: none"> 申請については計画を立てて早めに行う事。 地域の文化・伝統の振興に寄与できる事業となることが期待できる。 継続的に実施できる事業となることを期待する。 			
交付基準	審査項目		内容	チェック
	1年目	①事業目的や内容の公共	地域課題の解決や地域の活性化に資する事業か	○
		②事業内容の妥当性	事業内容が現実性のあるものか	○
			事業計画のスキームが適切か	○
	③団体の事業実施能力	事業収支が事業を遂行する上で適正か	○	
		事業を実施する能力や主体性があるか	○	
	2・3年目	④事業の継続性や発展性	事業の継続性や発展性があるか	○
			これまでの取組みの成果が生かされているか	○
4年目以降	⑤他の団体への影響	他の団体へ活動を促すなど、良い波及効果を与えるような事業か	○	
	⑥継続効果（1）	継続することで、さらに地域の活性化につながる成果が得られるか		
	⑦継続効果（2）	3年間では、目的が未達成だが、継続することで達成できるか		
⑧2分の1を越えた交付率の適	まちづくり会議において、地域課題として議論がされているか			
交付決定の理由	地域の文化・伝統の振興に寄与する事業として位置づけられ、まちづくり会議ににおいても積極的に実施すべきと判断いただいたため、交付決定に相当すると考えます。			

事業名	大野北子育て応援プロジェクト		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続（年目）
申請団体名	相模原おやこ劇場でいらブロック	代表者名	猪口 敦子
申請団体について	子どもの真の成長発達にとって、何が大切かをみんなで考え合い創造する団体。大野北地区では1990年代から活動中。		
事業の背景	近年の大野北地区における子育て世代の転入の現状において、孤立した子育てや不安を抱えたケースが見受けられコロナ禍で制限された人間関係は子育て世代の居場所や繋がりを作る機会を減少させている。そのような現状を踏まえて成長する子ども達に関心や意識の向上の重要性及び子育て世代の繋がりが必要と感じたため「音あそびやマリンバコンサート」のイベントを開催して多くの親子に参加していただきたく企画したもの。		
事業の目的	子育て世代の繋がりをつくることを目的として、音あそびワークショップやマリンバコンサートを通じて親子で生の音楽に触れることで心地よさや感動を肌で感じてもらいながら親子同士の交流促進を深め、子育ての健全育成の向上を図る。		
事業内容	○実施日：令和6年3月5日（火） in 青少年学習センターホール ・あしたばら音楽ラボ、マリンバ演奏者松本律子さんによる「0才から楽しむ音あそびワークショップ」と「マリンバコンサート」。 ・午前10時30分開演。1部約45分程度の4部構成。 ・0才から6才の親子対象で各回15組定員。 ・広報については、地域情報誌、SNS、大野北地区内の関係団体へチラシの配布予定。		
総事業費	200,000円	申請額	200,000円
対象経費	費目	金額	説明
	謝礼	121,000円	出演料
	印刷製本費	25,000円	チラシ作成費
	諸経費	54,000円	通信費、消耗品費、使用料、運搬料、保険料など
補事項説明			
審査基準	審査項目	審査の視点	
	①事業目的や内容の公共	地域課題の解決や地域の活性化に資する事業か	
	②事業内容の妥当性	事業内容が現実性のあるものか	
		事業計画のスキームが適切か	
		事業収支が事業を遂行する上で適正か	
	③団体の事業実施能力	事業を実施する能力や主体性があるか	
	④事業の継続性や発展性	事業の継続性や発展性があるか	
		これまでの取組みの成果が生かされているか	
	⑤他の団体への影響	他の団体へ活動を促すなど、良い波及効果を与えるような事業か	
⑥継続効果（1）	継続することで、さらに地域の活性化につながる成果が得られるか		
⑦継続効果（2）	3年間では、目的が未達成だが、継続することで達成できるか		
⑧2分の1を越えた交付率の適用	まちづくり会議において、地域課題として議論がされているか		
結果	<input type="checkbox"/> 積極的採用 <input type="checkbox"/> 採用すべき <input type="checkbox"/> 要調整		

次世代 ふちのベ ニュース

Vol.24

淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて 小中学校の皆さんに考えていただきました！

淵野辺小学校、共和中学校から依頼をいただき、淵野辺駅南口周辺のまちづくりについての出前授業等を実施しました。

淵野辺駅南口周辺のまちづくりについての取組を知っていただいた後に、市職員との意見交換やカードゲームによるグループワーク等を通して、沢山のアイデアをいただきました。

淵野辺小学校6年2組の皆さんからまちづくりについて提案していただきました！

淵野辺小学校(6年2組)では、総合学習の時間を通して、淵野辺のまちを活性化するために、自分たちにできることについて、様々なアイデアを考える取組が行われています。

今回は、同校から自分たちが考えたアイデアを聞いてほしいという依頼があり、11月30日(木)は大野北公民館と市立図書館で、12月14日(木)には淵野辺小学校の教室で、児童たちの発表を市職員や施設利用者が聞き、意見交換をしました。

「図書館にあるバリアフリーに関する本を活用した読み聞かせの開催」、「公園に沢山の子どもが来てもらえる様な新しい遊具」、「街や公園をキレイにするための活動」、「公園内の休憩スポットとしてのカフェスペースの設置」など、多岐にわたるアイデアが出されました。

出前授業をきっかけに、身近なまちづくりの取組について、関心を持ってもらうことができました。



小学生、中学生の皆さんと
沢山お話をすることが
できましたよ！

共和中学校にて出前授業を行いました！

共和中学校から依頼をいただき、3年生(6クラス、204名)を対象に、12月12日(火)、13日(水)、19日(火)の3日間に渡り、出前授業を実施しました。

初日は、公共施設マネジメントの考え方やまちづくりビジョンの概要について説明し、生徒の皆さんに淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて知っていただきました。

2日目は、クラスの班ごとに、「こんな施設になったらいいな」をテーマに、カードゲームを行いながら、淵野辺駅南口周辺の公共施設をより良くするためのアイデアを考えていただきました。

最終日は、各クラスで出てきたアイデアを学年全体で共有するとともに、各クラスの代表の生徒が選んだカードを基に、クラス単位で淵野辺駅南口周辺の公共施設をより良くするためのアイデアを考えました。

最後に代表の生徒から、「こんなに地域のまちづくりのことに考えたのは初めてで、良い経験になった」との感想をいただきました。



～主なアイデア～

- 図書館で天体観測会を開催し、図書館の本で調べながら、星を見る。
- 図書館や公園にカフェを設置する。図書館で借りた本の数だけ、料金を割引して、沢山のの人に利用してもらう。
- 親子連れで、親が公園の芝生広場内のフリーマーケットで買い物している間、子どもは公園や施設内で遊ぶ。



第3回まちづくりワークショップを開催しました！

11月18日(土)にエコパークさがみはらにて、「第3回淵野辺駅南口周辺のまちづくりワークショップ」を開催しました。

今回は、「淵野辺駅南口周辺がどんな場所になればよい？ そのための機能や空間は？」をテーマにグループワークを行いました。

前半は、「淵野辺駅南口周辺の良いところ、足りないところ」について意見を出し合いました。

後半は、前半で出た意見を踏まえて、「淵野辺駅南口周辺に必要な機能や空間」についてアイデアを出し合いました。

最後の全体発表の場では、各グループから様々な視点での意見・アイデアの発表がありました。

Aグループ

『車・人にも優しい 動きやすく安全なまち』

～主なアイデア～

- ・施設跡地を広場(イベントやフリマなど)で活用
- ・自転車駐車場の立体化
- ・ペDESTリアンデッキの設置
- ・公園までの道を広げ、公園に行きやすくする 等



Bグループ

『わくわくプロムナードふちのべ』

～主なアイデア～

- ・北口と南口を地下通路でつなげる
- ・駅前の開けた眺望などの景観形成
- ・歩行者・自転車・車の通行帯を分離
- ・レンタルサイクル・バイクの拠点整備により、駅前と各所を結ぶ
- ・鹿沼公園の防災機能の拡充 等



Cグループ

『あなたの大切な人と並んで歩ける街 ふちのべ♡』

～主なアイデア～

- ・駅から公園や施設が見え、ベンチがある歩きたくなる道の整備
- ・自転車駐車場の地下化
- ・商業スペースの確保
- ・バスロータリー等の整備
- ・季節を感じる植物で子どもの感性を育てる 等



Dグループ

『ちょうどいいにぎわい すみやすいほっとするまち』

～主なアイデア～

- ・駅前空間にマルシェを広げ、キッチンカー等を出店
- ・まちなかにベンチ、木陰等をつくる
- ・自転車で安全に線路を越えやすくする
- ・雨でも過ごせる公園
- ・広い空が見える等の景観形成 等



全3回に渡り、ご参加いただき、ありがとうございました♪



相模原市
マスコットキャラクター
『さがみん』

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり」に関する情報は、市ホームページでご覧頂けます。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026823/machitsukuri/1015393/index.html>



★次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関するお問い合わせ・ご意見は…

【公園について】 公園課 (電話：042-769-8243)

【まちづくりについて】 都市計画課 (電話：042-769-8247)

【公共施設について】 生涯学習課 (電話：042-769-8287)

E-mail : jisedai-fuchinobe@city.sagamihara.kanagawa.jp

今年も淵野辺のまちづくりに関する情報を発信していくよ♪
皆もまちづくりについて考えてみてね♪



淵野辺駅南口周辺の公共施設再整備後の跡地活用に関する 民間事業者等アンケート調査等の結果概要を公表します

本市では、淵野辺駅南口周辺の公共施設再整備後の跡地活用の検討を進めており、駅前自転車駐車場再整備や駅前市有地を活用したまちの賑わいの創出など、民間活力の活用等による地域の活性化に向けたまちづくりについて、専門的な知見を有する民間事業者等の皆様から幅広くご意見等をいただきましたので、その結果の概要を公表します。

1. 実施経過

実施時期	内容
令和5年8月9日(水)	実施の公表
令和5年8月23日(水)～9月12日(火)	アンケート調査の実施 【協力事業者27社】
令和5年10月23日(月)～11月16日(木)	ヒアリング調査の実施 【協力事業者21社】 ※アンケートの回答内容により、別途個別に依頼

2. 調査の対象

対象者	事業主体又はそれらの構成員となる可能性のある団体等
調査内容 (主なもの)	○ 駅前自転車駐車場再整備を含む駅前市有地の有効活用について ○ 淵野辺駅南口周辺の今後のまちづくりの取組について

3. 結果概要

別紙のとおり

4. 今後の予定

今回の調査結果については、今後の駅前市有地の有効活用等の実現に向けた検討に活用してまいります。

問合せ先

電話 042-769-8247 (都市計画課)

民間事業者等アンケート調査等の結果について（概要）

【駅前市有地（施設跡地等）の補足】

- ・駅前市有地A…現在の大野北まちづくりセンター・大野北公民館、あさひ児童館の敷地
- ・駅前市有地B－①…現在の淵野辺駅南口第1自転車駐車場の敷地
- ・駅前市有地B－②…現在の淵野辺駅南口第2自転車駐車場の敷地

1. アンケート調査の結果

(1) 協力事業者 27社（デベロッパー、建設、リース、施設維持管理、その他）

※27社のうち1社は、本部、支店及び営業所から回答のため、29件の回答あり。

(2) アンケート調査の結果概要

○駅前自転車駐車場再整備について

項目	アンケート調査の結果概要
民間活力を生かした事業の成立可能性	<p>【問】・民間活力を生かした独立採算型の再整備・管理運営について、「事業の成立可能性」に関し、「高い」、「やや高い」、「どちらともいえない」、「やや低い」、「低い」等の中から選択し、その理由を記入。</p> <p>【答】・「事業の成立可能性」は、約5割（14意見）が「高い」、「やや高い」と回答している。（全29意見、単一回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高い」、「やや高い」と回答した14意見のうち、9意見は、「本事業用地の立地条件が良い」、「ポテンシャルが高い」と評価している。
淵野辺駅南口周辺の交通環境や駅利用者の安全性・利便性を考慮した再整備場所	<p>【問】・現在の淵野辺駅南口周辺の交通環境や駅利用者の安全性・利便性を考慮した場合の「再整備場所」について、駅前市有地の中から選択し、その理由を記入。</p> <p>【答】・「再整備場所」は、約4割（10意見）が現在の自転車駐車場が立地する駅前市有地B－①、B－②で再整備することが良いと回答している。（全29意見、単一回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前市有地B－①、B－②と回答（10意見）した主な理由として、「駅前市有地Aよりも駅に近く、利便性が良い」が4意見で最も多かった。
自転車駐車場の課題解決のためのアイデア	<p>【問】・現在の駅前自転車駐車場（第1・第2）の課題（施設・設備の老朽化等）に対応した解決のためのアイデアを記入。</p> <p>【答】・「ラック等の設備の工夫」、「フロア・車室の拡大」に関するものが6意見あった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿沼公園や図書館敷地等に自転車駐車場を整備」、「多層式で整備」というアイデアがそれぞれ5意見あった。 ・「地上・地下で自転車駐車場を整備」というアイデアが2意見あった。

<p>考えられる施設の導入機能</p>	<p>【問】・再整備（又は管理運営）に当たり、「施設の導入機能」として、「単独施設（自転車駐車場のみ）」、「複合施設（自転車駐車場と他の用途との併設）」等の中から選択。</p> <p>【答】・「施設の導入機能」は、約3割（8意見）が「自転車駐車場単独で再整備（又は管理運営）」、約5割（13意見）が「自転車駐車場以外の施設との複合施設で再整備（又は管理運営）」と回答している。（全29意見、単一回答）</p>
<p>併設が期待できる導入可能な施設等</p>	<p>【問】・複合施設の場合、自転車駐車場との併設が期待できる「導入可能な施設」等を記入。</p> <p>【答】・自転車駐車場との併設が期待できる「導入可能な施設」は、商業施設のうち、「スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア」等の物販施設が7意見、飲食施設が2意見あった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車関連施設は2意見あり、その内容として、「シェアサイクル」、「自転車ショップ」が提案された。
<p>望ましいと考えられる事業手法等</p>	<p>【問】・自転車駐車場の再整備に当たり、望ましいと考えられる「事業手法」について、「民営化」、「PFI（BTO）」、「PFI（BOT）」、「PFI（BOO）」、「DBO」等の中から選択し、その理由を記入。また、「管理運営期間」、「事業スケジュール」を記入。</p> <p>【答】・「事業手法」は、「PFI（BTO）」が15意見、次いで「DBO」が11意見あった。（全46意見、複数回答可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「民営化」のみを単独で回答した企業は無いが、「制約の無い状態での民営化を希望」、「民営化を含めた幅広い手法にて検討」等の意見があった。 ・「管理運営期間」は、約4割（10意見）が「15年以内」と回答している。（全29意見、単一回答） ・「事業スケジュール」のうち「設計期間」、「建設期間」とも、それぞれ約1年との意見が多かった。
<p>土地と建物の所有形態</p>	<p>【問】・自転車駐車場の再整備に当たり、「土地と建物の所有形態」について、市又は民間のどちらが所有した方が良いかなど、複数の選択肢の中から選択。</p> <p>【答】・「土地（駅前市有地）と建物の所有形態」は、「土地は市が民間に貸付けし、建物は民間が所有」が最も多く、10意見あった。次いで「土地と建物は市が所有」が8意見、「土地と建物は民間が所有し、自転車駐車場部分を市へ貸付け」、「土地は市が民間に貸付けし、建物は民間が所有し、自転車駐車場部分を市へ貸付け」がそれぞれ7意見あった。（全52意見、複数回答可）</p>

○駅前市有地の有効活用について

項目	アンケート調査の結果概要
両事業（自転車駐車場再整備と余剰地の活用）の事業参画の意向	<p>【問】・「自転車駐車場再整備」と「余剰地の活用」の両事業に関する事業参画の意向について、「両事業に参画」、「自転車駐車場再整備のみに参画」、「余剰地の活用のみに参画」、「参画は難しい」等の中から選択し、その理由を記入。</p> <p>【答】・「自転車駐車場再整備」と「余剰地の活用」の両事業に関する事業参画の意向は、約5割（15意見）が「両事業に参画する」と回答している。（全29意見、単一回答）</p> <p>・「両事業に参画する」と回答（15意見）した主な理由として、「一体事業とすることで、事業性や相乗効果が期待できる」が5意見、「土地のポテンシャルが高い」が3意見あった。</p>
事業参画する場合の組織形態	<p>【問】・事業参画する場合の組織形態について、「自社単独」、「グループ代表」、「グループメンバー」等の中から選択。</p> <p>【答】・「両事業に参画する」と回答した企業（15意見）では、「グループ代表」、「グループメンバー」での参画がそれぞれ6意見、「自社単独」での参画が3意見あった。（全15意見、単一回答）</p>
事業範囲	<p>【問】・「自転車駐車場再整備」と「余剰地の活用」の両事業に関する事業範囲について、「一体的な事業として活用（又は整備）を行う」、「別々の事業として活用（又は整備）を行う」等の中から選択。</p> <p>【答】・「事業範囲」は、8割（12意見）が両事業を「一体的な事業として活用（又は整備）を行う」と回答しており、約2割（3意見）が「別々の事業として活用（又は整備）を行う」という回答であった。（全15意見、単一回答）</p>
余剰地の活用に当たり事業の成立可能性が高い場所	<p>【問】・「事業の成立可能性が高い場所」について、駅前市有地の中から選択。</p> <p>【答】・「両事業（自転車駐車場再整備と余剰地の活用）に参画する」又は「余剰地の活用のみに参画する」と回答した企業（18社）のうち、「事業の成立可能性が高い場所」として回答したのは、「駅前市有地A」が最も多く、13意見あった。次いで「駅前市有地B-①」が10意見、「駅前市有地B-②」が9意見あった。（全34意見、複数回答可）</p>
有効活用に関する具体的な内容	<p>【問】・駅前市有地の有効活用に関する具体的な内容（「アイデア」、「導入可能な施設」、「事業手法」、「事業スケジュール」等）を記入。</p> <p>【答】・「有効活用に関するアイデア」は、自転車駐車場（多層式で整備、屋上等を有効活用）、複合化等（自転車駐車場と商業施設等を整備）、商業等（飲食施設、物販施設等）、住居（分譲・賃貸マンション）、医療・介護（クリニック、病院等）、地域コミュニティ施設（コミュニティ・子育て交流スペース等の設置）、ウォークブル・賑わい（歩</p>

	<p>道状空地等の整備、施設低層部に商業等を配置等)等の様々なアイデアが提案された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記アイデア(導入可能な施設)は、大きく「商業施設」、「集合住宅」、「医療・介護施設」、「地域コミュニティ施設」に分類され、「商業施設」、「集合住宅」と回答した企業が最も多く、それぞれ8意見あった。 ・「望ましいと考えられる事業手法」について、民間主体で活用する土地は、「土地売却」が最も多く、9意見あった。次いで「定期借地権設定」が4意見あった。 ・「事業スケジュール」のうち「設計期間」、「建設期間」とも、それぞれおおむね「約1～2年程度」とする意見が多かった。
事業参画等の条件等	<p>【問】・事業参画等に当たっての条件等(市に求めること等)を記入。</p> <p>【答】・「土地の高度利用や駅周辺の通行環境の改善」は、4意見あり、「駅前市有地B-①、B-②の間の道路を廃止し、敷地を統合してほしい」、「統合する敷地も含め、駅前広場等を含む一体的な再整備を検討」がそれぞれ2意見あった。</p>

○「まちづくりビジョン」を踏まえた淵野辺駅南口周辺の今後のまちづくりの取組について

項目	アンケート調査の結果概要
淵野辺駅南口周辺の状況(ポテンシャルと課題)の認識	<p>【問】・現在の淵野辺駅南口周辺(駅前市有地、駅前広場、周辺道路等)の状況について、ポテンシャルや課題への認識を記入。</p> <p>【答】・「淵野辺駅南口周辺のポテンシャル」として、「公園や公共施設があり、利便性が高く、賑わい創出等が期待できる」が14意見、「住宅地や複数の学校があり、人口等も多く、商業施設等の成立可能性が高い」が11意見あった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方、「淵野辺駅南口周辺の課題」として、「淵野辺駅北口との連続性がなく、南北の往来に課題がある」、「淵野辺駅南口に商業施設が少なく、賑わいが不足している」がそれぞれ5意見あった。
ふさわしいと考えられるまちづくりの提案	<p>【問】・淵野辺駅南口周辺のまちづくりの観点から、ふさわしいと考えられるまちづくりの提案を記入。</p> <p>【答】・「ハード面の取組」として、「人が滞留・交流できる拠点の整備」が最も多く、6意見あった。次いで「駅前広場等を含めたエリアの再整備」、「商業施設の配置」がそれぞれ5意見、「駅南口から公園までの動線整備」が4意見あった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ソフト面の取組」として、「各種イベント等の取組」等が9意見、「エリアマネジメントの取組」が4意見あった。
ウォークアブルや景観形成の	<p>【問】・「ウォークアブル」や「景観形成」の取組として、「公共施設の集約・複合化(図書館、公民館等の複合施設の設置)及び鹿沼公園のリニ</p>

取組の提案	<p>ューアル」と相乗効果が図られるような具体的な提案を記入。</p> <p>【答】・「ウォークブルの取組」として、「駅前広場等の再整備や駅南口から公園までの動線整備等」が最も多く、10意見あった。次いで「各種イベント等の取組」、「ウォーキング・ランニングコース等の設定等」がそれぞれ3意見あった。</p> <p>・「景観形成の取組」として、「駅南口から公園までの良好な街路空間の整備等」が10意見、「鹿沼公園のリニューアル」に関するものが5意見あった。</p>
エリアマネジメントによるまちづくりの提案	<p>【問】・「住民・事業主・地権者等が主体となったエリアマネジメントによるまちづくり」の展開（自らがまちづくりの担い手になり得る等を含む。）も視野に入れた提案を記入。</p> <p>【答】・「エリアマネジメントの取組」として、「活動拠点となる施設や活動エリアとなる公共空間の整備」が最も多く、11意見あった。次いで「地域が主体となる具体的な活動内容の提案」、「担い手の発掘や団体への支援等」がそれぞれ6意見あった。</p>

2. ヒアリング調査の結果

(1) 協力事業者 21社（デベロッパー、建設、リース、施設維持管理、その他）

(2) ヒアリング調査の結果概要

○駅前自転車駐車場再整備について

ヒアリング調査の結果概要	
	<p>(事業の成立可能性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の建築費の高騰等を懸念する意見が多数あった。 ・単独施設では、事業採算性が合わない可能性が高く、地代の無償化や他施設との一体運営、商業施設との併設など、適切な事業条件の設定が必要との意見が多数あった。 ・施設整備から運営に至るまで、全てを担うことは難しいとの意見が複数あった。 ・施設の位置が駅前から離れると、収支のバランスが困難になるとの意見があった。
	<p>(事業手法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間所有施設（市が土地を貸付け）の場合、自転車駐車場部分は、市が長期に借り受けるといった意見が多数あった。 ・商業施設と複合化する場合は、市が土地を貸付ける手法が望ましいとの意見があった。 ・完全な民営化は難しいとの意見が複数ある一方、収益性のある商業施設など他の施設との一体運営や利用料金の自社設定、地代の減免等によって、独立採算的な運営の可能性があると意見が複数あった。
	<p>(導入可能な機能・施設等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場と併設が可能な施設として、商業施設（自転車ショップ、コンビニエンスストア、カフェ等）のほか、子育て支援や学童保育、文化や地域交流を目的とした施設、ま

た、住居（マンション）など、多様な意見が多数あった。
(整備のアイデア)
<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設の場合、地下や2階以上で整備という意見や、敷地・建物内の動線を工夫し、他の集客施設への誘導が可能との意見が複数あった。 ・再整備場所として、コスト、利便性、安全性の面から、駅前市有地Aを評価するという意見が複数あった。 ・自転車交通量等を考慮すると、自転車駐車場は機能分散する方が良いとの意見が複数あった。 ・駅前市有地の有効活用の観点から、現在の図書館敷地で再整備を求める意見や、駅前市有地B-①とB-②の間の道路の廃止等の意見が多数あった。

○駅前市有地の有効活用について

ヒアリング調査の結果概要	
(事業手法)	<ul style="list-style-type: none"> ・住居や商業施設の需要が高いため、売却・貸付けの両面から検討が可能との意見が複数あった。 ・民間主体の土地活用を行う場合は売却、公共サービス（自転車駐車場）の提供を伴う場合は貸付けが望ましいといった意見、また、売却・貸付けの土地を組み合わせるといった意見が複数あった。 ・一体的な事業（自転車駐車場再整備と余剰地の活用）とすることで、収益性を確保できるといった意見があった。
(導入可能な機能・施設等)	<ul style="list-style-type: none"> ・住居や商業施設以外では、学生や市民のための地域コミュニティ施設、子育て支援施設の設置の意見が複数あった。
(有効活用のアイデア)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に、駅前市有地Aに住居（マンション）、駅前市有地Bに商業施設を配置するといった意見が多数あった。 ・駅前市有地Aと駅前市有地Bのそれぞれに自転車駐車場と商業施設を整備する方が良いとの意見があった。 ・有効活用に際して、歩行者優先の視点でインフラ整備を行うことが必要との意見が複数あった。 ・駅前広場、駅広隣接地区の再整備は、土地の資産価値を上げ、行政・民間の双方にメリットがあるといった意見があった。
(その他)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施に当たり、市内事業者との連携について、地域貢献の観点から積極的な意見が多数あった。

○「まちづくりビジョン」を踏まえた淵野辺駅南口周辺の今後のまちづくりの取組について

ヒアリング調査の結果概要	
(淵野辺駅南口周辺の状況認識)	
<ul style="list-style-type: none"> ・緑豊かな公園、学生のまち、買い物が便利など、生活の場として魅力があるといった意見が多数あった。 ・歩行者・自転車の交通量が多く渋滞するなど、交通安全上の課題があるといった意見が複数あった。 ・駅南口を降りて公園まで駅前ロータリーを回らないと行けないため、動線整備等が課題という意見があった。 	
(各種まちづくりの提案)	
<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・車両の動線分離、滞留スペースの確保など、安全性・利便性の観点から、駅前広場周辺の再整備（自転車駐車場位置の検討、ペDESTリアンデッキ・ロータリー等の整備）が望ましいとの意見が多数あった。 ・ウォークアブルな空間創出として、駅前広場（街区）の再整備や駅南口から公園までの道路の直線化等が有益との意見が複数あった。 ・駅南北間や駅南口から公園までの回遊性を高める取組として、地域や商店街との連携によるイベントの実施等が効果的との意見が多数あった。 ・商業施設について、駅前の商店街化や地元商店街との連携を図るとの意見が多数あった。 ・市民や学生のイベントや活動の場として、様々なことに活用できるスペース・拠点が必要との意見が複数あった。 ・学生や大学との連携による地域づくりへの取組が必要との意見が多数あった。 	
(エリアマネジメントの提案)	
<ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネジメントは、継続性や活動資金等の課題があり、具体的な目標の設定、イベント収入や企業からの出資・人的支援、行政の関与・連携が必要との意見が多数あった。 ・地域の人に関わりをもってもらうなど、施設を利用したイベントの実施や、担い手として、学生や地元商店街等が主体になることが期待されるといった意見が多数あった。 	

以 上

大野北地区まちづくり会議会則

(名称)

第1条 本会議の名称は、大野北地区まちづくり会議（以下、「まちづくり会議」という。）という。

(目的)

第2条 まちづくり会議は、地域課題の情報共有やその解決に向けての意見交換等を行い、協働によるまちづくりを推進することによって、地域力の向上を図り、もって大野北地区の発展・活性化に資することを目的とする。

(役割)

第3条 まちづくり会議の役割は、以下のとおりとする。

- (1) 地域活動団体間の情報交換、情報共有
- (2) 地域活動団体間の事業実施や課題の総合調整
- (3) 行政施策や行政依頼業務に関する意見や要望のとりまとめ
- (4) 地域内の住民の意向把握や活動への新たな参加者増加の対策検討
- (5) 構成団体等の協働による地域課題解決に資する事業実施の調整
- (6) 区民会議と協働したまちづくりの推進
- (7) その他会議の目的達成に必要なと認められる事項

(構成)

第4条 まちづくり会議は、別表第1に掲げる者（以下「委員」という。）をもって構成する。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

(役員)

第6条 まちづくり会議に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 幹事 2名

2 役員には、別表第2に掲げる委員を充てる。

(役員職務)

第7条 会長は、まちづくり会議の会務を総括し、まちづくり会議を代表する。

2 会長は、全体会の議長を務める。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。

4 幹事は、会長及び副会長を補佐する。

5 会長は、相模原市中央区区民会議の委員となる。

(役員任期)

第8条 役員任期は1年とし、再任を妨げない。

(会議)

第9条 まちづくり会議に次の会議を置く。

(1) 全体会

(2) 役員会

(全体会)

第10条 全体会は、委員をもって構成する。ただし、会長が必要と認めた場合は、委員以外の者に出席を求めることができる。

2 全体会は、構成員の過半数以上の出席により成立し、出席者の過半数の同意によって決定する。

3 全体会は、第3条の役割及び次の事項を処理する。

(1) まちづくり会議会則を設け、又は改廃すること

(2) 専門部会の設置に関する事

(3) その他会長が必要と認める事項に関する事

4 全体会は、会長が必要と認めたとき、又は委員の過半数の請求があったときに、会長が招集する。

(役員会)

第11条 役員会は第6条の役員をもって構成し、次の事項を処理する。

(1) 全体会の運営に関する事

(2) 全体会から役員会に委任された事項に関する事

(専門部会の設置)

第12条 全体会が必要と認めたときは、専門部会を設置することができる。

2 専門部会の構成員等は役員会で定める。

(会議の公開)

第13条 全体会は、原則公開するものとし、傍聴について必要な事項は、役員会で定める。

2 全体会の記録については、要点を記述した会議録を作成し、公開することができる。

(事務局)

第14条 まちづくり会議の事務局は、大野北まちづくりセンターに置く。

(委任)

第15条 本会則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この会則は、平成22年5月25日から施行する。

この会則は、平成24年5月29日から施行する。

この会則は、平成26年6月2日から施行する。

この会則は、平成27年5月27日から施行する。

この会則は、平成29年1月23日から施行する。

別表第1（第4条関係）

団 体 等
大野北地区自治会連合会
大野北地区社会福祉協議会
大野北公民館
大野北地区民生委員児童委員協議会
交通安全協会
大野北地区老人クラブ連合会
相模原市消防団中央方面隊第三分団
さがみはら国際交流ラウンジ
大野北青少年健全育成協議会
青少年指導委員大野北地区協議会
スポーツ推進委員大野北地区協議会
小学校
中学校
小・中学校PTA
青山学院大学
桜美林大学
麻布大学
ボランティアグループ
大野北第1地域包括支援センター
大野北第2地域包括支援センター
淵野辺地区商店会会長連絡協議会
淵野辺駅南口商栄会
相模原市農業協同組合淵野辺支店

別表第2（第6条関係）

役 職	委 員
会 長	大野北地区自治会連合会会長
副会長	大野北地区社会福祉協議会会長
副会長	大野北公民館館長
副会長	大野北地区民生委員児童委員協議会会長
幹 事	大野北地区自治会連合会副会長
幹 事	大野北地区自治会連合会副会長